

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2019年度 パフォーマンス向上会議情報(2019年12月17日(火)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2019年12月17日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	【雑固体廃棄物焼却設備冷却水ヒータの絶縁不良について】 凍結防止対策として、雑固体廃棄物焼却設備冷却水ヒータの使用前に絶縁抵抗測定をしたところ、絶縁抵抗不良を確認。 原因は、経年劣化と推定。 対応を検討中。	GⅢ	12月10日
2	【6号機 原子炉冷却材浄化系の廃液貯蔵タンク(A)(B)液位記録計の動作不良について】 6号機 原子炉冷却材浄化系の廃液貯蔵タンク(A)(B)液位記録計の記録用紙を交換後、記録用駆動装置が停止することを確認。 記録用駆動装置モータ等の異音はなく、原因は不明。 今後点検を実施し、不具合箇所の特定ならびに交換等の対策を検討する。 指示値は確認可能であり、タンク液位監視に問題なし。	GⅢ	12月11日
3	【サブドレン攪拌ポンプ(B)電動機のモータスペースヒータケーブルの誤接続について】 点検のためサブドレン攪拌ポンプ(B)電動機のモータスペースヒータケーブルを解線したところ、無電圧にもかかわらず「スペースヒータ故障」の警報発生を確認。 原因は、ケーブルが攪拌ポンプ(B)とは違う端子台に接続されていたため。 ケーブルを正常に戻し、故障警報は復帰。 誤接続となった経緯を調査し、対策について検討する。	GⅢ	12月12日